

Canon EF LENS

EF70-300mm f/4-5.6 IS USM



IMAGE STABILIZER
ULTRASONIC

JPN

使用説明書

キヤノン製品のお買い上げ誠にありがとうございます。

キヤノンEF70-300mm F4-5.6 IS USMは、手ブレ補正機構を搭載した、EOSカメラ用・高性能望遠ズームレンズです。

- ISはImage Stabilizer（手ブレ補正機能）の略称です。
- USMはUltrasonic Motor（超音波モーター）の略称です。

特長

1. シャッター速度換算で、約3段分*の手ブレ補正機能を備えています。
また移動する被写体の流し撮りに効果を発揮する手ブレ補正モード2も備えています。
2. UDレンズを採用することにより、優れた描写性能を実現しています。
3. ズームリングを固定して、レンズを最短状態に保持できます。
4. 超音波モーター（USM）搭載により、高速で静かなオートフォーカスを実現しています。
5. 円形絞りの採用により、なめらかで美しいボケ味が得られます。

* [1/焦点距離] 秒を基準にしています。
一般に手ブレを防ぐためには「1/焦点距離」秒以上のシャッター速度が必要といわれています。

安全上のご注意

- レンズ、またはレンズを付けた一眼レフカメラで、太陽や強い光源を直接見ないようにしてください。視力障害の原因となります。特に、レンズ単体で直接太陽をのぞかないでください。失明の原因となります。
- レンズ、またはレンズを付けた一眼レフカメラを日光の下にレンズキャップを付けないまま放置しないでください。太陽の光が焦点を結び、火災の原因となることがあります。

取り扱い上のご注意

- レンズを寒いところから暖かいところに移すと、レンズの外部や内部に水滴が付着（結露）することがあります。そのようなときは、事前にレンズをビニール袋に入れて、周囲の温度になじませてから、取り出してください。また、暖かいところから寒いところに移すときも、同様にしてください。
- 直射日光下の車の中などは予想以上に高温になります。レンズの故障の原因になることがありますので、このような場所にレンズを放置しないでください。

本文中のマークについて

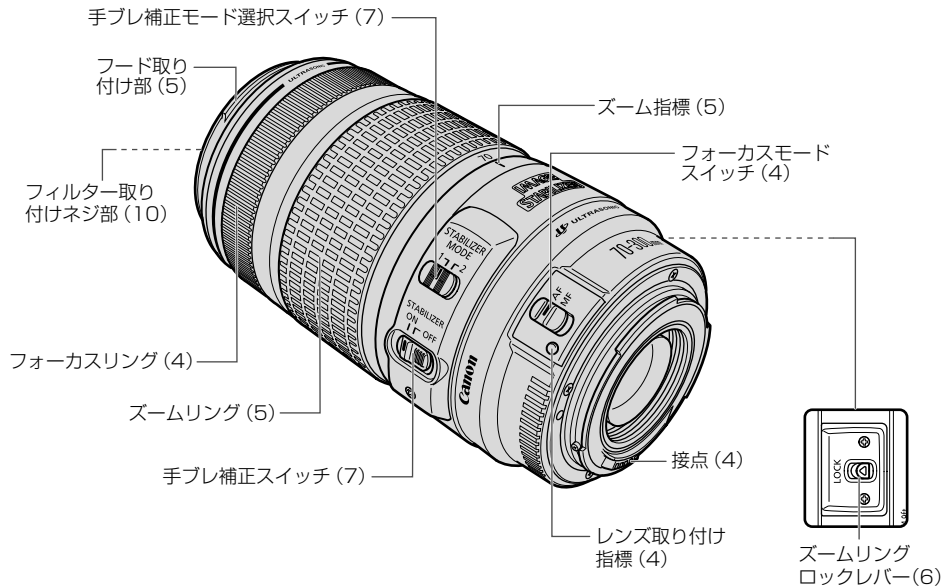


撮影に不都合が生じる恐れのある注意事項などが書いてあります。



基本操作に加えて知っておいていただきたい事項が書いてあります。

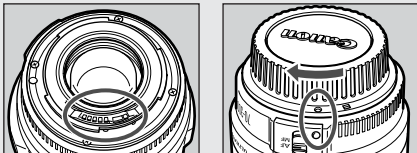
各部名称



(**) の ** 部は参照ページを示しています。

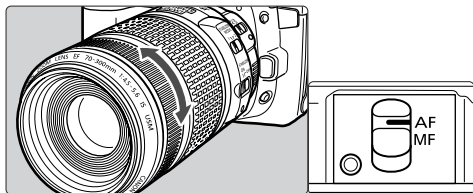
1. レンズの着脱

レンズの着脱方法については、カメラの使用説明書を参照してください。



- レンズを外したときは、接点やレンズ面を傷付けないように接点を上にして置いてください。
- 接点に汚れ、傷、指紋などが付くと、接触不良や腐食の原因となることがあり、カメラやレンズが正確に作動しないことがあります。
- 汚れや指紋などが付着した場合は、柔らかい布で接点を清掃してください。
- レンズを外したときは、ダストキャップを付けてください。取り付けは、図のようにレンズ取り付け指標とダストキャップの○の指標をあわせて時計方向に回します。取り外しは、逆の手順で行います。

2. フォーカスモードの設定

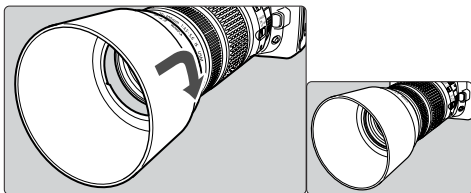


オートフォーカス (AF) で撮影するときは、フォーカスモードスイッチをAFにします。
マニュアルフォーカス (MF) で撮影するときは、フォーカスモードスイッチをMFにし、フォーカスリングを回します。



- AF作動中は、レンズの回転部分に触れないください。
- フォーカスモードスイッチがAFのときは、MFができません。

3. フード（別売）

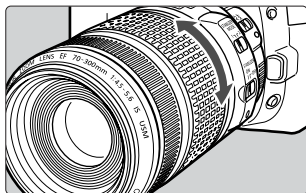


レンズフードET-65Bは、有害光線をカットするとともに、雨・雪・ほこりなどからレンズ前面を保護します。

フードをフード取り付け部にあわせ、矢印の方向に回して確実に取り付けてください。収納時にはフードをレンズに逆向きにかぶせることができます。

- レンズ先端部は回転するため、フードの取り付けは、レンズ先端部を持って行ってください。
- フードが正しく取り付けられていないと、撮影画面にケラレが生じることがあります。
- フードの取り付けや取り外しをするときは、フードの根元を持って回してください。フードの先の方を持つと変形して回らなくなることがあります。

4. ズーミング

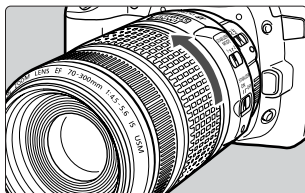
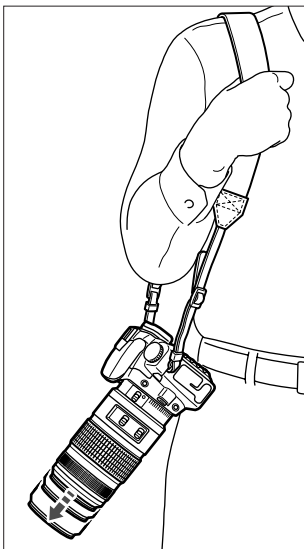


ズームリングを回転させてズームリングします。

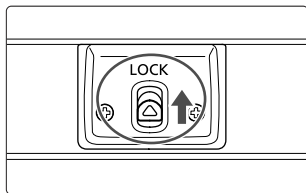
- ピント合わせはズームリングしたあとで行ってください。ピントを合わせてからズームリングすると、ピント誤差が生じることがあります。

5. ズームリングの固定

ズームリングを固定して、レンズを最短状態に保持できます。ストラップ付きカメラに装着した状態で運搬するとき、ズーム繰り出し部が伸びてしまうことを防ぎます。



1 ズームリングをワイド端 (70mm) まで回す。



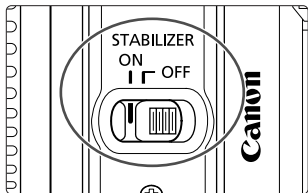
2 ズームリングロックレバーを矢印の方向にスライドする。

- ズームリングの固定を解除するときは、ズームリングロックレバーを矢印の反対方向にスライドします。

! ワイド端以外でのズームリングの固定はできません。

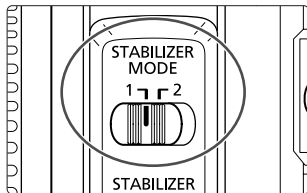
6. 手ブレ補正機能

手ブレ補正機能はフォーカスモードがAF/MFどちらの場合でも使用できます。



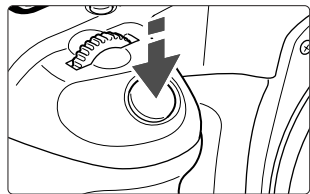
1 手ブレ補正スイッチをONにします。

- 手ブレ補正機能を使用しないときは **OFF** にします。



2 手ブレ補正モードを選択します。

- **MODE 1**：すべての方向の手ブレを補正します。主に静止した被写体の撮影で効果を発揮します。
- **MODE 2**：水平方向の流し撮りのときは上下方向の手ブレ、垂直方向の流し撮りのときは左右方向の手ブレを補正します。



3 シャッターボタンを半押しすると、手ブレ補正機能が働きます。

- ファインダー像が安定したことを確認し、シャッターボタンを全押しして撮影します。

7. 手ブレ補正機能の有効な使い方

このレンズの手ブレ補正は、次のような条件の手持ち撮影で効果を発揮します。

●MODE 1



ON

OFF

- 夕景や室内など、薄暗い場所
- 美術館や舞台など、ストロボ撮影が禁止されている場所
- 足場が不安定な状況
- その他、速いシャッター速度が使用できない状況

●MODE 2



ON

OFF

- 移動する被写体を流し撮りする場合

手ブレ補正機能の有効な使い方



- 被写体が動いてしまう「被写体ブレ」は補正できません。
- バルブ（長時間露光）撮影のときは手ブレ補正スイッチを **OFF** にしてください。 **ON** にすると手ブレ補正機能が誤作動することがあります。
- 次のような状況では、手ブレ補正効果が十分に得られないことがあります。
 - ・ 大きく揺れ動く乗り物から撮影するとき
 - ・ **MODE 1**で、カメラを大きく動かして流し撮りをするとき
 - ・ **MODE 2**で、流し撮り以外の撮影をするとき
- 手ブレ補正機能を使用すると、通常より電力が必要なため、撮影可能枚数が少なくなります。
- シャッターボタンから指を離しても、約2秒間は手ブレ補正が作動しています。この間はレンズを外さないでください。故障の原因になります。
- EOS-1V/HS、3、7、7s、55、Kiss III、Kiss III L、IX E、D30のセルフタイマー撮影では、手ブレ補正機能は作動しません。



- 三脚を使用した場合も支障なく撮影できますが、バッテリーの消費を防ぐため手ブレ補正スイッチを **OFF** にすることをおすすめします。
- 一脚を使用した場合も、手持ち撮影と同等の手ブレ補正効果があります。
- 手ブレ補正機能はエクステンションチューブ EF12 II/EF25 IIを使用しても作動します。
- カメラによっては撮影後などに像ゆれが発生することがありますが、撮影への影響はありません。
- カメラのカスタム機能でAF作動操作を変更したときは、変更後のAF作動ボタン操作でも手ブレ補正機能が作動します。

8. フィルター（別売）

フィルターは、レンズ先端のフィルター取り付けネジ部に取り付けてください。

- レンズ先端部は回転するため、フィルターの取り付けはレンズ先端部を持って行ってください。
- フィルターは1枚のみ使用できます。
- 偏光フィルターはキヤノン円偏光フィルター（58mm）を使用してください。
- 円偏光フィルターの調整操作は、フードを外して行ってください。

9. エクステンションチューブ（別売）

エクステンションチューブEF12 II/EF25 II を使用して拡大撮影ができます。撮影距離範囲と撮影倍率は次のようになります。

		撮影距離範囲 (mm)		撮影倍率 (倍)	
		近距離側	遠距離側	近距離側	遠距離側
EF12 II	70mm	584	638	0.22	0.17
	300mm	1361	7629	0.32	0.04
EF25 II	70mm	420	428	0.40	0.38
	300mm	1254	3890	0.39	0.09



正確なピント合わせのため、MFをおすすめします。

10.クローズアップレンズ (別売)

クローズアップレンズ250D/500D (58mm) を使用して拡大撮影ができます。

撮影倍率は次のようになります。

- クローズアップレンズ250D：70mm側で使用
できます。(撮影倍率は0.29～0.38倍)
- クローズアップレンズ500D：使用できません。
(撮影倍率は0.14～0.90倍)



正確なピント合わせのため、MFをおすすめします。

主な仕様

焦点距離・明るさ	70-300mm F4-5.6
レンズ構成	10群15枚
最小絞り	F32-45
画角	対角 34°~8°15'、垂直 19°30'~4°35'、水平 29°~6°50'
最短撮影距離	1.5m
最大撮影倍率	0.26倍 (300mm時)
画界	約394×596mm~92×136mm (1.5m時)
フィルター径	58mm
最大径×長さ	76.5×142.8mm
質量	630g

フード・レンズキャップ・ケース

フード	ET-65B
レンズキャップ	E-58U/E-58 II
ケース	LP1222

- レンズの長さはマウント面からレンズ先端までの寸法です。付属のレンズキャップおよびダストキャップをつけたときの長さは寸法表示+21.5mm (レンズキャップがE-58Uの場合) / +24.2mm (レンズキャップがE-58 II の場合) になります。
- 大きさ・質量は本体のみの値です。
- エクステンダーEF1.4X II/EF2X II は使用できません。
- 絞り値はカメラ側で設定します。ズーミングによる絞り値の変化はカメラが自動的に補正します。
- 記載データはすべて当社基準によります。
- 製品の仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。

アフターサービスについて

1. 保証期間経過後の修理は原則として有料となります。なお、運賃諸掛かりはお客様にてご負担願います。
2. 本製品のアフターサービス期間は、製品製造打切り後7年間です。なお、弊社の判断によりアフターサービスとして同一機種または同程度の仕様製品への本体交換を実施させていただく場合があります。同程度の機種との交換の場合、ご使用の消耗品や付属品をご使用いただけないことがあります。
3. 修理品をご送付の場合は、撮影された画像を添付するなど、修理箇所を明確にご指示のうえ、十分な梱包でお送りください。

キヤノン EFレンズホームページ

canon.jp/ef

キヤノンお客様相談センター

050-555-90002 (直通)

受付時間〈平日〉9:00~20:00 〈土/日/祝〉10:00~17:00 〈1/1~3は休ませていただきます。〉

※ 海外からご利用の方、または050からはじまるIP電話番号をご利用いただけない方は03-3455-9353をご利用ください。

※ 受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

Canon